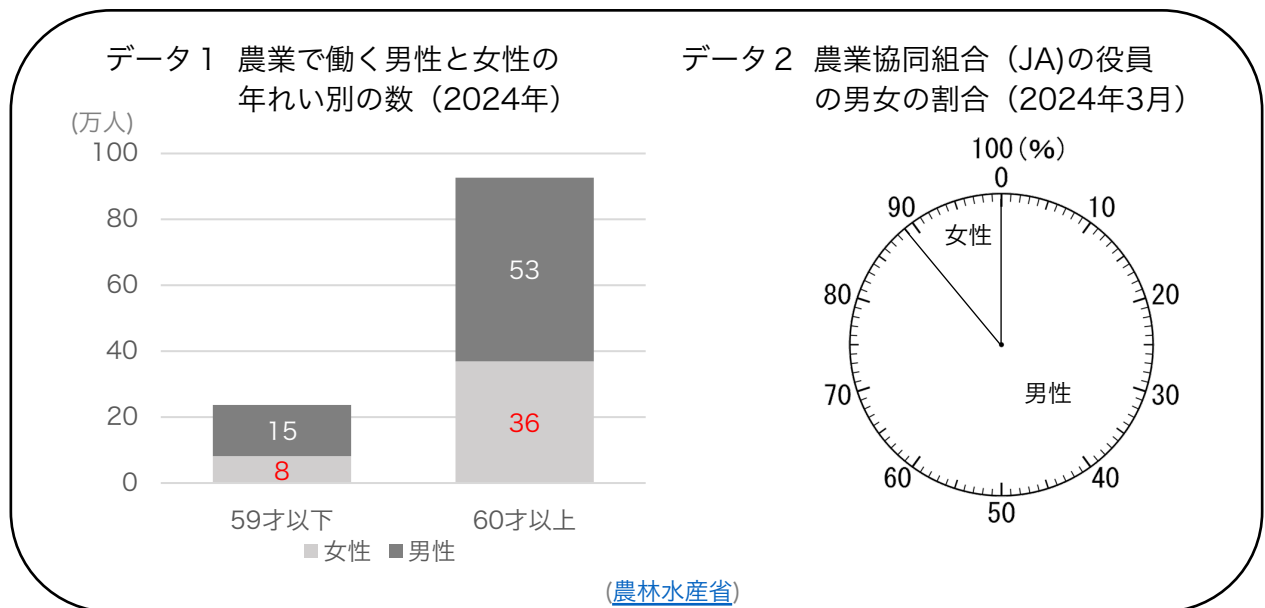


## 9. 食料生産と女性の活やく

### A 農業で働く女性はどれくらいいるの？

めいさんは社会科で、農業がかかえる課題の一つに、働く人が減る「農業ばなれ」があることを学習しました。農業ばなれについて調べていると、問題を解決するために国が、農業で働く女性の活やくを<sup>おこ</sup>えんしていると知りました。そして下のデータ1、データ2を見つけました。



1. 農業で働く女性の割合は、59才以下と60才以上ではどちらが大きいですか。
2. 農業全体で働く女性の割合を求めたいと思います。
  - A. 農業で働く女性は何人いますか。
  - B. 農業で働く人（男性と女性）は何人いますか。
  - C. 農業で働く女性の割合を求め、百分率で表しましょう。百分率は、四捨五入して整数で求めましょう。
3. 農業協同組合の役員は、農業の<sup>しやうらい</sup>将来を決める大切な<sup>やくわり</sup>役割をもっている人たちです。農業協同組合の中で役員である女性は、男性のおよそ何分の一ですか。
4. 農業で働く女性について、よりふさわしいのはどちらだと思いますか。
  - A. 農業で働く女性は多く、じゅうぶんに活やくしている
  - B. 農業で働く女性の割合に対し、農業の将来を決めることのできる女性の割合がとても小さく、まだ女性の活やくの場<sup>かぎ</sup>所が限られている





ほりさげて

か  
ん  
が  
え  
て  
み  
よ  
う



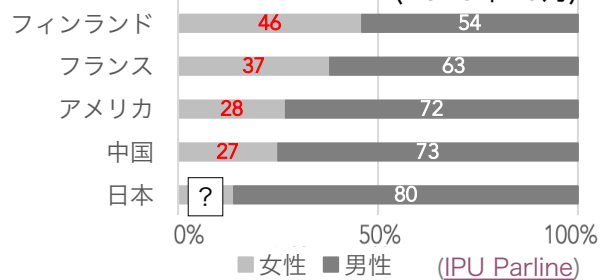
## B ジェンダーギャップってなあに？

日本の人口を男女別にみると、男性が49%、女性が(150・51)%となっています。人口の半分(2以上・以下)が女性ですが、日本では、男女のちがいで生まれる差の**ジェンダーギャップ**が大きいといわれています。健康面や教育面でのジェンダーギャップは小さいのですが、男性と比べて女性が社会で能力を発揮できる場所が(3平等にある・限られている)ということが大きな問題になっています。そこで国は、ジェンダーギャップを縮め、女性が社会で(4活やくし・消極的になり)やすい環境をつくるために「女性活躍推進法」という法律を2015年につくりました。

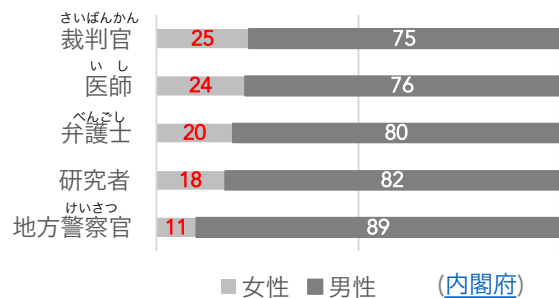
女性が社会でどれくらい活やくしているかということを知る目安の一つに、特別な知識や経験が必要な職業である「専門職」での女性の割合があります。データ1から、専門職の一つの国会議員の女性の割合は、日本では(520・80)%であり、他の国と比べて(6小さい・大きい)ことがわかります。(7フィンランド・アメリカ)では、国会議員の約半分は女性です。

データ2からも国内の専門職の中で女性の割合が大きい(8裁判官・地方警察官)でも女性は全体の(9 $\frac{1}{4}$ ・ $\frac{1}{5}$ )で、ジェンダーギャップがあることがわかります。

データ1 国別の国会議員の男女の割合 (2025年10月)



データ2 国内の専門職別の男女の割合



?

新型コロナの感染が拡大した2020年4月は、国内で働いている女性の数は70万人減り、男性は39万人減りました。どうしてこの差ができたのだと思いますか。

こ

1. 60才以上 59才以下：男性のおよそ半分 60才以上：男性の半分よりずっと多い

た

2. A 44万人  $8 + 36 = 4$  B 112万人  $44 + 15 + 53 = 112$   
C 39%  $44 \div 112 \times 100 = 39.2\cdots$

え

3.  $\frac{1}{9}$  女性11% (およそ10%) 男性89% (およそ90%)  $10 \div 90 = \frac{1}{9}$

4. B

か  
ん  
が  
え  
て  
み  
よ  
う  
1 - 51 2 以上 3 限られている 4 活やくし 5 -20  
6 小さい 7 フィンランド 8 裁判官 9 -  $\frac{1}{4}$